平成26年度　静岡市障害者自立支援協議会部会の報告

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 部会名 | 取り組み内容等 | 構成委員 |
| **相談支援事業評価部会** | **１　平成２６年度相談支援事業評価の実施**･･･評価結果は別紙資料のとおり　〇相談支援事業に対する取り組み　〇利用者アンケート　〇事業評価部会におけるヒアリング（障害種別ごと小部会を開催） | 自立支援協議会委員（青野委員、長谷川委員）、静岡手をつなぐ育成会、身体障害者団体連合会、障害者協会、地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ推進ｾﾝﾀｰ、葵生活支援課、駿河生活支援課、清水生活支援課、精神保健福祉課、障害者福祉課　　　　　　 |
| **地域生活支援部会****移動支援プロジェクト****(H25.4～)**<目的>移動支援事業の充実について検討する<検討内容>①利用対象者の拡大(H26年度から身体障害者疾病原因要件を撤廃)②通学における移動支援の利用③ﾍﾙﾊﾟｰ不足対策と人材育成 | **１　通学における移動支援の利用について**･･･平成２７年度より、個別ケースについて、移動支援の利用について協議する「（仮）個別ケース検討会議」を開催し、必要な応じ利用を認めていく。**２　ヘルパー不足対策と人材育成について****平成２６年度移動支援従事者養成研修の実施**（第２回目は平成２７年３月に実施予定）日　時：第１回　９月２７日（土）、９月２８日（日）演習（１０月４日から１９日）場　所：保健福祉複合棟３階第３研修室　　　受講者：２９名　　修了者：２９名課　題：演習協力事業所が「障がい者ヘルパーネットワーク静岡」の事務局を努める４事業所のみであったため、演習日を増やし対応した。協力事業所の増加策を含め、来年度は演習方法について再検討する。〇受講者から寄せられた意見　「講義内容が大変、充実していた。」「現場経験のある方の講義が有意義だった。」「講義の時間が長過ぎた、もう少し短い方がよい。」「演習では、利用者の方がヘルパーと行動する中で、発見、喜び、次への期待を膨らませる様子を見て、働く喜びを感じた。」「演習回数を２回くらいにしてほしい。」「研修が生かせるように、仕事として移動支援に関わりたい。」 | 自立支援協議会委員（山本委員、大川委員）、障害者協会、障害者福祉課　 |
| **地域生活支援部会****地域課題検討ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ****(H26.4～)**<目的>行動に課題のある人への支援について検討する<検討内容>①児童に対する継続した支援②家族に対する支援③人材の養成等 | **１　児童に対する継続した支援について****障害児施設入所者の移行支援体制の確立**･･･退所時期が到来した児童福祉施設入所児童に対する切れ間のない適切な支援に向けて、関係機関の支援体制等を確立するため、「（仮称）入所児童地域移行支援会議」の設置について協議、関係機関との調整を行った。**２　人材の養成等について****強度行動障がい者支援研修の実施**　日　　時：平成２７年２月１３日（金）午後１時から場　　所：城東保健福祉エリア　保健福祉複合棟　第１・２研修室内　　容：「強度行動障害とは（仮題）」　講師　　社会福祉法人横浜やまびこの里　東やまたレジデンス　管理者　中村　公昭　氏**３　行動に課題のある障がい児(者)実態調査の実施**(結果は別紙資料のとおり)･･･市内の施設入所及び在宅の「行動に課題のある障がい害児者」の実態を把握し、今後の支援策を検討資料とするため実態調査を実施した。 | 自立支援協議会委員（佐野委員、檜垣委員、望月委員）、宍原荘、障害者相談支援センターわだつみ、障害者協会、地域リハビリテーション推進センター、障害者福祉課　 |
| **権利擁護・虐待防止部会****(H26.4～)**<目的>障がい者の権利擁護、虐待防止推進策について検討する<検討内容>①普及・啓発②虐待事例の情報共有及び検証③早期発見、再発防止策の検討 | **１　虐待事例の情報共有及び検証について**･･･権利擁護センター及び静岡市における障がい者虐待の対応や虐待事例検証会議の進め方について協議するとともに、現状と課題等について情報共有をした。**障害者虐待事例検証会議の開催**日　　時：平成２７年２月２０日（金）午後1時30分から　　　場　　所：駿河区役所３階　大会議室１・２参 加 者：虐待防止センター、障害者福祉課、精神保健福祉課、保健所清水支所、各区生活支援課※専門家（弁護士、社会福祉士）の出席を依頼し、助言を得ながら、困難事例等の検討を行う。 | 自立支援協議会委員（江原委員、西尾委員、中村委員、鈴木委員）、ひまわり事業団ピアサポート、障害者協会、精神保健福祉課、障害者福祉課 |